

2011年度

科目名	人間と社会A				
担当教員	井上 徹				
配当	人社1		コード	31006	
開期	前期	講時	水曜日1限	単位数	2
授業テーマ	人と社会を考える。				
目的と概要	人と社会の関係について、心理学、社会学、社会心理学の分野から代表的な考え方を紹介し、各自が人と社会を考える上での基本的な知識を身につけることを目的とします。さらに日本文化の特徴と日本人のパーソナリティ、現代の情報化社会が人に与える影響についても考察します。この講義を通して、社会科学の基本的な用語、概念を整理し、理解してください。				
成績評価法	授業中のミニレポート(20%)＋ 学期末筆記テスト(80%) 欠席および他の受講生に迷惑をかける行為(私語など)はマイナスに評価します。				
テキスト	特に指定しません。授業中にプリントを配布します。				
参考書					
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	私語をするものは、授業を妨害するものと見なし、退室させます。 説明している事柄もノートに残すこと。 事前に次回の予告をするので、いろいろな文献で当該の事項について調べておくこと。				
講義計画					
1. 授業へのオリエンテーション		大学の授業の特徴、授業の受け方、本講義の内容等について。			
2. 人の発達と社会化 (1)		ひとはどこまで動物か			
3. 人の発達と社会化 (2)		フロイトの考え方。生きるエネルギーがすべての源			
4. 人の発達と社会化 (3)		条件付けと学習。すべては白紙に書き込むように。			
5. 人の発達と社会化 (4)		子どもはみずから、周囲への対応の仕方を身につけていく。			
6. 文化とパーソナリティ (1)		デュルケームの考え方。個人の心理と社会の心理			
7. 文化とパーソナリティ (2)		親の養育態度と子どものパーソナリティ			
8. 文化とパーソナリティ (3)		社会的性格。フロム、リースマンの考え方			
9. 文化とパーソナリティ (4)		西洋文化と東洋の文化			
10. 日本人のパーソナリティ (1)		日本人のパーソナリティの深層。阿閼世コンプレックスとは			
11. 日本人のパーソナリティ (2)		一体感社会の功罪			
12. 日本人のパーソナリティ (3)		カルチャーショックと異文化理解			
13. 情報化社会と人 (1)		メディアの変遷と人の感覚の変化			
14. 情報化社会と人 (2)		メディア社会における人の心理			
15. 全体のまとめ					